

2023年 大納会

2023年12月29日、この1年の取引を締めくくる大納会を行いました。
福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、約40名の市場関係者の皆様にご出席いただき、
長理事長の挨拶と、引き続き理事長の音頭によって、くる年の平穏と景気の拡大、証券界の
益々のご繁盛、ご列席者の皆様のご健勝を祈念して恒例の「博多手一本」を入れました。



理事長挨拶
(2023年大納会)

2023年、令和5年の大納会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、この1年、会員証券会社をはじめ、市場関係者の皆様、大変、お疲れ様でございました。

おかげさまをもちまして、本日、本年の取引所業務を滞りなく終了し、このように無事、納会を執り行うことができますことに感謝し、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、この1年の株式市況を振り返りますと、日経平均株価は年初は2万5千円台でスタートしましたが、5月半ばに3万円台を突破、その後も3万円台から3万3千円台で推移し、本日の終値は3万3464円17銭となりました。

円安を背景にした輸出関連企業の業績改善期待が高まったことや資本コスト等を意識した経営、海外投資家の日本株に対する評価の改善などが要因として言われていますが、年後半の半年以上にわたり3万円台がすっかり定着したという意味で、良い年だったと思います。

経済全体をみますと、昨年に引き続き、物価上昇を実感させられた年ではありましたが、これまで続いていたコロナ禍による行動制限が5月に撤廃され、インバウンド需要の持ち直しなども相まって、緩やかな回復局面を続けた1年でありました。

また、ワールドベースボールクラシックでの侍ジャパン優勝、大谷選手のメジャーリーグでの大活躍や将棋の藤井八冠誕生など、若い力の活躍に元気をもたらった一年でもありました。

一方、本所をめぐる状況をみますと、新規上場は2社ありましたが、昨年に引き続き、新規の単独上場会社がなく、Q-Boardの売買が低迷するなど、計数面での厳しい状況を脱することはできませんでした。

しかしながら、新規上場支援の面では、九州IPO挑戦隊にこれまでで最高の7社が入会、また、地方で不足しがちなIPO責任者を育成する天神IPOスクールを本格的に開始したことに加え、リバースピッチといった新しいイベントを開始するなど、上場支援のプログラムの充実を図ってまいりました。

また、プロ投資家向け市場の開設準備、海外投資家向け「F u k u o k a T R C」の試行実施に関して、公表を行う段階に入るなど、中期経営方針に掲げる福証としての機能強化の取組みに関しましても進展がありました。

このような新たな取組みの検討を進めていくに当たっては、お集りの会員証券会社の皆様、常日頃より福証を支えていただいている関係者の皆様に、色々ご支援、ご協力をいただきました。

この1年間のご厚意に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。来年も引き続き、よろしく願いいたします。

最後になりますが、2023年も、あと残り2日余りとなりました。間もなく新しい年を迎えます。

すっかり寒さも深まってまいりましたことから、皆様、お体に気を付けて、「良い年」をお迎えください。